

11月16～17日に行われた合同会議(右)
11月18～19日に行われた環境安全グローバル会議の様子(下)



Global Activities

第1回 技術部門グローバル会議開催

2004年11月16～19日、第1回技術部門グローバル会議を大阪で開催しました。
「グローバル・エクセレント・カンパニーへの挑戦」のテーマのもと、世界中の日東電工グループから約350人が集結しました。
目的は事業のグローバル化に対応した情報の共有化と各拠点における活動のレベルアップです。
前年までは部門別に開催してきましたが、今回初めて、研究開発・環境安全・品質・調達の4部門合同で開催しました。
前半2日間は全体会議で、グローバルニッチトップ製品*候補の展示・発表や各部門の成果発表、ポスター展示などをすべて英語で実施。
グローバル経営を印象づける場となりました。また後半2日間は部門別会議で、担当者同士が互いの課題や問題、技術を共有化しました。
2005年度は、「『質』の向上」をテーマに、CB(コーポレート・ブランド)&CSR(企業の社会的責任)をサブテーマに開催することが決まっています。
今後も引き続き、世界各拠点との情報交換、コミュニケーションの強化のために毎年開催する予定です。



11月16～17日にはポスター展示も開催され、各部門からそれぞれ成果を報告

* グローバルニッチトップ製品: 成長するマーケットを選択し、そのなかのニッチな分野を対象に、日東電工グループ固有の差別化された技術を活かして世界シェアNo.1を目指す、という基本戦略に基づき開発された製品。

各グローバル会議への参加グループ会社



研究開発グローバル会議

日東電工グループにおけるナノテクノロジーや塗工技術などの製品・技術開発についての発表を行い、世界各拠点の研究開発担当者同士の積極的な質疑応答がありました。

これらの発表と質疑応答を通じて、各国の課題、世界の技術やグループの開発状況などについて参加者間で知識と情報を共有しました。今後の各拠点での研究開発に活かしていきます。

品質グローバル会議

「最高の品質とサービスを提供しよう」という目標のもと、「グローバル・エクセレント・クオリティ・レベルの認識と対策」をテーマに、グループディスカッションを行いました。不良品を発生させない品質保証のあり方、顧客満足度向上、品質に関する人育成・教育、グローバルな法規制遵守について議論が交わされ、各拠点が抱えるさまざまな問題が明らかになりました。

それらの問題を解決するため、2007年までの具体的なロードマップを作成し、2005年度からグループ全体で、このロードマップに沿った品質アクションプランを推進していきます。

環境安全グローバル会議

2007年度までと2015年度までのグループ全体での指標と目標値を設定しました。「環境」面では地球温暖化対策を視野に入れた環境経営指標 **→P19** と目標値を、「安全」面では、グループにおける重大災害をゼロにするために、2015年度の目標として「100万時間当たりの重大な労働災害件数を2005年度比0.25倍に減少」(グループ独自の判定基準を使用)と設定し、目標達成に向けた各拠点の具体的な活動項目を立案しました。

また、今回はグループディスカッションも取り入れ、英語・日本語を交えて活発に話し合いました。

調達グローバル会議

拠点からの状況報告とグループディスカッションを行いました。拠点報告では、世界的に問題となっている原油価格高騰による影響とその対策等について、海外拠点3ヶ所を含む6拠点から報告されました。グループディスカッションでは、「情報の共有化」「海外物流の最適化」「集中購買の可能性」をテーマに、中期経営計画の実現に向けて調達部門が担う役割について話し合いました。